



11月の園だより

運動会までの日々

「運動会まであと何日」と数えられるくらいになって、子どもたちの気持ちも高まってきました。2回目のリハーサルでは本番さながらに張り切って、どの子もよく競技に取り組めていました。

「リハーサルどうだった？」の問いかけに、「楽しかった」との答え。それぞれが十分取り組めていたのだと思いました。

運動会3日前、雨が降りました。久しぶりの雨で室内で過ごし、子どもも大人もほっとした感じでしたが、子どもは雨が上がり外に出られるようになるとすぐに登り棒をやりだしたとのこと。

運動会に向かって気持ちが前に向いている子どもたちの姿勢を感じました。

第18回運動会

ひかり組からたいようグループまで全員での運動会。乳児クラスは大中里こども園で初めての参加でしたね。みんなでできるってとっても嬉しかったです。

どの種目も誰がやってもみんなで応援できるしみんな楽しめる。『大中里こども園の子どもが元気になる運動会』というテーマが見事にできていたと思います。子どもだけでなく大人も元気になりましたね！

卒園した友だちの顔も見ることができ、誰もが笑顔になった一日でした。終わって家族でお弁当を食べたのも子どもたちの気持ちを温かくしたようです。

ありがとうございました。



運動会の後

幼児のおみこしに跳び箱もさせてもらった乳児。自分もできると張り切ってご機嫌。

「登り棒する」と2歳児がくもの巣の登り棒に大人を誘って挑戦。少しずつ上に行くと眺めも気持ちもいいようです。

5歳児は「跳び箱終わりにするよー」との大人の声に、「まだやるっ!」と名残惜しそうにこども園での最後の跳び箱をしていました。

運動会の楽しかった思いを持ったまま、運動会ごっこで振り返っているようでした。

園庭の様子

本当に暑い毎日でまだまだプールに入りたいと思っていたのに、プール納めが終わると急に冷たい空気がやってきました。コスモスの花が咲いて、揺れるその間に子どもの姿が見えています。

今年は金木犀が香ってくるのが少し遅れたようですが、今とてもいい香りが園庭にしています。金柑の実が大きくなる途中でいくつか下に落ちています。拾って少し爪で引っ搔くとミカンのいい匂いで嗅ぐと気分がよく、持ち歩いている子がいます。

チョウが飛んでいます。そんなにいたの?というくらいカマキリがいました。そして、幼児の砂場の前に新しい大きな樫の木が来ました。小林造園さんに大きな木があったら欲しいとお願いしていたもので、市役所の駐車場で大きくなったので切ったとのこと。切ってそのまま運んでくださり、枝ぶりが素敵です。太いところ細いところ高低もあります。そんなところが魅力で子どもたちは直ぐに樫の木に登っていました。大中里こども園の新しい子どもの居場所です。

園庭の様子(写真)



バス遠足

6月に予定していたバス遠足でしたが今の時期にずれ、秋晴れの気持ちいい天気に恵まれました。バス遠足に行くのは4年ぶり。大型バスでの遠足も日本平動物園に行くのも4年ぶり。

レッサーパンダにシロクマ、ゾウ・・・たくさんの動物に会って、動物園を歩き回って(走り回ってかな?)楽しい時間をそれぞれ過ごせたようですね。

帰りのバスはみんなぐっすり、気持ちいい眠りについていました。

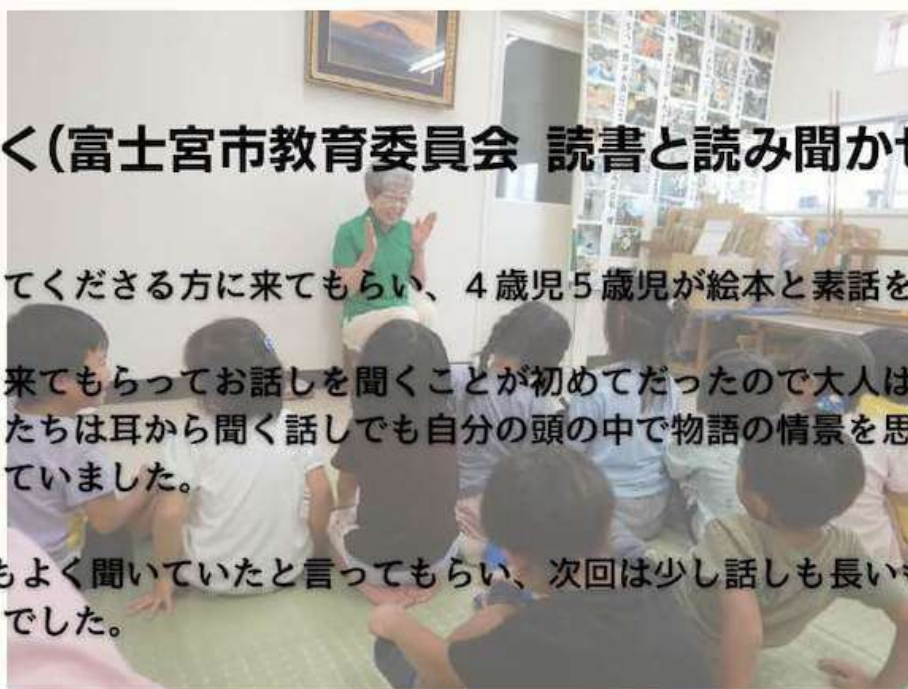
遠足後にも、バス遠足の話しを友だちともお家の方ともできるのは楽しいことですね。

お話しを聞く(富士宮市教育委員会 読書と読み聞かせ推進事業)

お話しをしてくださる方に来てもらい、4歳児5歳児が絵本と素話を聞きました。

園外の方に来てもらってお話しを聞くことが初めてだったので大人は少し心配でしたが、子どもたちは耳から聞く話しでも自分の頭の中で物語の情景を思い浮かべ楽しむことができていました。

お話の方にもよく聞いていたと言ってもらい、次回は少し話しも長いものでも行けそうとのことでした。





渋柿をいただく

理事の深澤さんより「お家の柿の木にたくさんなったのでどうぞ」と、渋柿をいただきました。すでに熟しているものはそのまま食べられ、硬いものは焼酎につけて数日置いておくと甘くなるよとのこと。

熟した柿は子どもに1つずつあり食べると「甘い」「おいしーね」「おかわりはないのー」「2個は食べたいな」との感想。

まだ硬い渋柿は子どもの前でヘタを焼酎をつけ、ビニール袋に入れ数日置きました。渋が抜けたかを確認して、子どもたちと食べるとこれもまた甘く、乳児もよく食べていました。

甘い、おいしいがわかる子どもたちの育ちは嬉しいです。



ふかたやさし

熟し柿もさわし柿も
子どもたちはあつという間に
食べて、「おかわりある？」と
「2個は食べたいよ」と
言っていました。

柿をあげるカバとウ



2023.10.25.
おおなかがざと
こどもえん



かま、あまが、た

あひVかった

